

寄附講義「会社研究」令和5年度 第10回目

令和5年6月21日(水) 13時10分

講師 ふたばこども園 吉田 茂 氏

テーマ：「社会人として大切なことはすべて保育で学んだ—あなたが社会人として生き抜く処方箋—」

本年度第10回目の寄附講座は、平成7年3月に卒業し、一旦は株式会社トキハへ入社し、現在のご両親が経営していた保育園を継いだ吉田茂先輩による、「社会人として大切なことはすべて保育で学んだ—あなたが社会人として生き抜く処方箋—」という講義となりました。

先ず、株式会社トキハで得た経験談や万年赤字経営だった保育園の再興に至る経緯を述べられました。その要因は従業員たる保育士さん達に耳を傾けたことに尽きていました。3年で経営を立て直しています。経営が安定すると同時に大学院で保育学の学位を取得して、保育園の経営の傍ら、大学・短大で教鞭を取っており、何冊も著書を執筆してきた。

吉田さんの生活信条はロバートフルガム著「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」を参考にしている。



講義概要は以下の通りでした。

1. 園児が作成した青い粘土造形物の名前の推定ゲーム・園児チームによるペットボトルキャップを直角に転がすまでに至るまでのビデオ・園児チームによるトカゲ専用捕獲道具作りに至る経緯のビデオ・園児が下まで滑りきる様子のビデオ・大好きなカタツムリ/ナメクジの生態を調べ、発表したい園児チームのビデオ・園児チームによる泥団子の作り方を作成する過程のビデオ・園児チームによる安全な弓矢についてのアイデアを出し合うビデオ等以下の3つの項目がどう培われてゆくかを「社会人基礎力」(経済産業省)を踏まえて説明された
- 1) 学生が社会人になって活躍するには「興味」が必要

- 2) 学生が社会人になって成長するには「振り返り」が大事
- 3) 学生が社会人になって成果を上げるには「目標」を持つこと

2. 就職時・就職後にはこれら3項目を意識して学生が社会人になって仕事に臨むことで必ず社会人としてうまく行くとの由

3. これら3つの項目は、学生たちは既に幼児期にしっかり身につけているので、安心して社会人になってほしいとの由

個人的な印象としては、もし身近に保育園児候補がいれば、吉田さんが経営する保育園に通わせれば、3つの項目がきっと養われるだろうから預けたいと思いました。



以上